

南極の外来種

外来種とは、その地域において元々存在する種ではなく、故意または偶然に持ち込まれた種のことです。現在、様々な外来種が南極大陸または亜南極圏に存在しています。これまでに持ち込まれた種としては、微生物、藻類、菌類、維管束植物、無脊椎動物、魚類、鳥類、哺乳類などがあげられます。



責任ある訪問者になるために

南極は、外来種の侵入があるものの、比較的本来の環境を維持しています。人間の活動は、外来種を媒介する可能性があることから、科学プログラムやツアー催行者は、南極大陸の各地で、人間が外来種を持ち込む媒介となるリスクを最小限にするよう取り組んでいます。



IAATOは、本手引き作成に当たり連邦科学財団のアメリカ南極プログラムのご支援に御礼申し上げます。

www.iaato.org



南極本来の環境を外来種から守ろう



アメリカ南極プログラムより作成
病害虫を持ち込まないための手引き

南極の外来種

まだ出発前ですか？
南極に行く前にすべきこと

衣服を徹底的に調べ、きれいにする：

ポケットや布の縫い目、マジックテープ、ファスナー、靴底など、衣服のすべての部分について、泥や有機物がついていないかを調べましょう。徹底的なクリーニングが推奨されま



清潔な道具を持っていく：

道具やアウトドア装備はクリーニングしたばかりであり、泥や有機物がついていないことを確かめてください。もし、前回の南極大陸旅行で付着した汚れが道具に残っていたとしたら、外来種を持ち込むことになりかねません。

外来種は、何に付着してくるのでしょうか？

- ブーツや靴
- ズボンのすそや折り返し部分
- ポケット
- マジックテープやフリース
- リュックサック
- アウトドア用具、カメラバッグ
- ステッキ、三脚



到着したら—
南極を守るための5つのステップ

1 旅行中は、靴や衣服の除染処置を行いましょう。これは、離れた地域間を移動した場合（亜南極圏と南極大陸の間など）や、異なる島への上陸、または異なる地点へ移動した場合に、特に重要となります。



2 足元に気をつけましょう。有機物を含む地域を歩く場合は、その有機物が容易に他の地域へ運ばれてしまうので、注意してください。もし、自分の靴や衣服、道具に有機物が付着していたら、その地域を離れる前に洗浄し、移動中に消毒してください。



3 道具は常に清潔にしましょう。道具とは、靴、装備品、リュックサック、カメラバッグ、ズボンのすそと折り返し部分、フリースや上着のファスナー部分など、様々なものを含みます。



4 病害虫について報告をしましょう。もし外来種を発見したと思ったら、ツアーガイドに伝えてください。

5 他人へ情報を伝え、共有しましょう。私たちは皆、南極を健全な状態に保つことに貢献しているのです。

どのような外来種が、南極大陸に存在しているのでしょうか？



- 種子
- 草類
- 藻類
- ショウジョウバエ
- ミミズやゴカイなどの蠕虫
- 蜘蛛
- 小昆虫
- 微生物

亜南極圏から学ぶ南極大陸への教訓

亜南極圏における人間の活動により、多くの外来種が意図的（食用のウサギやトナカイ）、非意図的（ネズミ、虫、植物など）の両面から混入し、およそ200種もの外来種が亜南極の島々に存在しています(表1)。これらの種は陸上、淡水、海洋にて生存し、場合によっては優位を占めており、在来種を減少または絶滅させて、生態系の変化をもたらす一因となっています。

表1 亜南極圏の外来種



出典：Frenot, Y et al. Biological invasions in the Antarctic: extent, impacts and implications. Biol. Rev. (2005), 80, pp. 45-72.